

システムイノベーションセンター (SIC)
第3回 経営者研修講座

“閉じる” から “つなぐ” へ：
データ戦略が変える競争優位の本质

パネルディスカッションの場で経営者同士が語る
データ連携とオープン志向による協調領域の共創

開催日時 2025年11月11日(火) 13:30～16:30

場所 イイノホール&カンファレンスセンター Room A (オンライン開催を併設)
東京都千代田区内幸町2-1-1 <https://www.iino.co.jp/hall/>

主催 一般社団法人システムイノベーションセンター (SIC)

共催 一般社団法人ウラノス・エコシステム推進センター (OEPC)

SIC講師陣によるパネル講演

「AIとウラノス・エコシステムによるDXのバージョンアップ」



浦川 伸一
SIC代表理事・センター長
OEPC代表理事
株式会社スカイエージ / 株式会社スカイエージネクスト
代表取締役

「イノベーション加速の基盤をつくる」



齊藤 裕
SIC理事
情報処理推進機構(IPA)理事長
最高執行責任者
IPA/DADCセンター長

「ワット・ビット連携によるサイバー・フィジカル融合」



岡本 浩
SIC理事
東京電力パワーグリッド株式会社
取締役副社長 執行役員
最高技術責任者 最高情報責任者

「量子AI時代の技術開発の在り方」



島田 太郎
SIC理事
株式会社東芝
代表取締役 社長執行役員 CEO

「DXとビジネスモデル、イノベーションモデルの変革」



藤野 直明
SIC実行委員
株式会社野村総合研究所
シニアチーフストラテジスト



講座の目的

システムイノベーションセンター（SIC）は、日本におけるシステムイノベーションを実現するために、2019年に産業界主導の組織として設立されました。変革期を迎えた産業技術を経営および社会の変革に有効に結びつけるのは、卓越したシステムを基盤とする企業間の協調領域の共創であることを訴え、第1回、第2回の経営者研修講座を開催してきました。今回の講座では、企業のデータ戦略を、データ連携とオープン志向により「閉じる」から「つなぐ」へ変えることで、競争優位の本質を変革することを強く訴えます。国も、経済産業省を中心として、企業や業界、国境をまたぐ横断的なデータ連携・システム連携の実現を目指す取組として、「ウラノス・エコシステム（Ouranos Ecosystem）」を推進しています。SICは、この理念・ビジョンに賛同して民間主導で立ち上げた団体であるウラノス・エコシステム推進センター（OEPC）と連携して、そのような新しい形のDXを提唱しています。

本講座ではSICの活動のリーダーシップを取っている理事・役員が、データ連携とオープン志向による協調領域の共創による新しいDXの具体例を提示します。このデジタルエコシステムへの道案内を通して、日本の経営者層がDXへの理解を深め、自社のビジネスの変革の音頭を取り、それを通して日本の産業界の変革が進むことを願っています。

対象とする聴講者

取締役、執行役員、事業部長クラスの方で企業内部において意思決定を担っておられる方。特にデジタル化やシステム化の担当者、あるいはそれについての課題意識を持ちながら着手する糸口を見出し得ないでおられる方々を歓迎します。業種、企業規模は問いません。

研修講座の開催形式

聴講者と経営者であるSIC講師陣とが同フロアで語り合う場を設けるという内容で、講師のパネルディスカッションによる小規模な講座を企画いたしました。そのため、対面を重視する形式とし、ディスカッションを行う場所に聴講者に実参加いただきます。地方におられる等、実参加が困難な聴講者にはオンラインでの「ハイブリッド参加方式」を提供します。

プログラム

11月11日（火）13:30～16:30

13:30～13:35 オープニング: 主催者挨拶、趣旨説明

SIC理事・実行委員長 松本 隆明

パネルディスカッション「データ連携とオープン志向による協調領域の共創」

パネル講演：パネリストからのアピール

各20分+質疑約10分

浦川 伸一 題目：「AIとウラノス・エコシステムによるDXのバージョンアップ」

内容：生成AI技術の急速な進展は、DXの実現方法を大きく変えつつある。業務改革・システム開発の両面で生成AIによるバージョンアップが現実となりつつあるが、企業を跨るDXがボトルネックとなるケースが少なくない。データ戦略による新たなDXの進化形について考察したい。

齊藤 裕 題目：「イノベーション加速の基盤をつくる—新たな価値創造を可能にするためのAI活用の課題とは」

内容：新たな価値を生むためのイノベーション加速が急務である日本の産業界にとって鍵となるのは、AIを活用したシステム化・自動化による事業構造の変革である。その前提条件となるAI活用基盤構築の考え方と、実現への課題を整理したい。

島田 太郎 題目：「量子AI時代の技術開発の在り方」

内容：ChatGPTは当初研究発表として公表されたが、それが世界最速のダウンロードを記録し、その後ビジネス化が始まった。現代はリアルに開発しては競争に勝てない。この課題を次世代技術である量子を例にその解決手法を提案する。

岡本 浩 題目：「It from Watt. ワット・ビット連携によるサイバー・フィジカル融合」

内容：Society 5.0は、電力グリッドとデジタルインフラの高度な連携・協調によって実現されると考えられる。東電PGでは、これをワットビット連携とよんで推進しており、その概要と具体的取り組みを紹介する。

藤野 直明 題目：「DXとビジネスモデル、イノベーションモデルの変革～企業間データ連携の重要性」

内容：DXで小売は広告産業、物流は流通業、製造業は社会システム産業へと進化する。さらに、①AIの進化、②産業政策としてのオープンなイノベーション、③企業間データ連携基盤が、これらを加速する。新しい現実を紹介したい。

13:35～16:00

ディスカッション

16:00～16:25

16:25～16:30

クロージング

SIC代表理事・センター長 浦川 伸一

参加申し込み

- ・定員：会場（イノホール&カンファレンスセンター RoomA）に実出席 30名と、オンライン出席者 20名を募ります。
- ・参加費：10,000円（実出席、オンライン出席とも同額）。（本研修講座案内ページ https://sysic.org/center_activity/4683.html を参照の上、SICイベント参加申込みページよりお申し込みください。）

問い合わせ

一般社団法人 システムイノベーションセンター（略称：SIC）
事務局 所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-7 ストーク新宿B-19号
電話：03-5381-3567 E-mail：office@sysic.org HP：<https://sysic.org>



経営者研修講座案内ページ



イベント参加登録ページ

2025.8.15